令 和 ８ 年 度
筑前地区中学校

主催　筑前地区中学校体育連盟
　　筑前地区各市町教育委員会
主管　糟屋区中学校体育連盟

新人柔道大会要項

１　大 会 名　　第４３回　筑前地区中学校新人柔道大会　　第３３回　筑前地区中学校新人女子柔道大会

２　期　　日　　令和８年１１月１４日(土)　　予備日　１５日（日）
受付開始　８：１０(役員集合　８：００)　監督会議８：５０　審判会議８：５５
開始式　９：０５　競技開始　９：１５

３　会　　場　　福岡武道館　（〒８１２－００４５　福岡市博多区東公園８番３号　ＴＥＬ　０９２－６３３―２６６６）

４　参加制限　　各区から選出されたチームとする。
⑴ 男子は監督（教員・部活動指導員・チームスタッフ）１名、コーチ１名、選手７名以内とする。
女子は監督（教員・部活動指導員・チームスタッフ）１名、コーチ１名、選手４名以内とする。
コーチは各チームより１名とする。
⑵ 男女とも団体戦のみとする。女子団体戦はオープン参加とする。（１６チームを超えないこととする。）
⑶ 監督・コーチの服装は審判員に準じる。

５　競技方法　　⑴ 中学校における引率・監督は、出場校の校長・教員・部活動指導員とする。大会の参加について、校長・部活動指導員が引率できないと校長が判断した場合、「大会引率細則」により、校長が適切であると承認した外部指導者（コーチ）に引率及び監督の資格を認める。（福岡県中学校総合・新人体育大会開催基準に準ずる）
コーチについては出場校の教育職員（部活動指導員を含む）とする。但し、教育職員（部活動指導員を含む）以外のコーチは校長が認め、県中体連に登録し承認を受けたものとする。地域クラブ活動における引率・監督・コーチは、県中体連に登録し、承認を受けた責任ある代表者・指導者とする。
⑵ 男子団体戦は、参加１６チームを４チームずつ４組に分け、各組でリーグ戦を行い、各組の上位２チーム（８校）によって決勝トーナメントを行なう。
⑶ 女子団体戦は、オープン参加とする。出場チームに変動があるため、各地区の順位を考慮して専門部において組み合わせを行なう。
⑷ チーム間の勝敗は次のとおりとする。
①勝者数の多いチームを勝ちとする。
②①で同等の場合は、「一本」もしくは、それと同等の勝ちによる勝者の多いチームを勝ちとする。
③②で同等の場合は、「技有」による勝者数の多いチームを勝ちとする。
④③で同等の場合は、「有効」による勝者数の多いチームを勝ちとする。
⑤④で同等の場合は、「僅差」による勝者数の多いチームを勝ちとする。
⑥⑤で同等の場合、リーグ戦では「引き分け」とする。決勝トーナメント戦では、代表戦を行い必ず勝敗を決する。なお、代表戦に出場する選手は、チームの任意により１名を選出する。
⑸ リーグ戦の順位は次のとおりとする。
①３勝、２勝１分、２勝１敗、１勝２分、１勝１敗１分、１勝２敗、３分、２分１敗、１分２敗、３敗の順とする。
②①で同等の場合は、リーグ戦を通じて勝者数の多いチームを上位とする。
③②で同等の場合は、リーグ戦を通じて「一本」もしくはそれと同等の勝ちによる勝者数の多いチームを勝ちとする。
④③で同等の場合は、リーグ戦を通じて「技有」による勝者数の多いチームを勝ちとする。
⑤④で同等の場合は、リーグ戦を通じて「有効」による勝者数の多いチームを勝ちとする。
⑥⑤で同等の場合は、リーグ戦を通じて「僅差」による勝者数の多いチームを勝ちとする。
⑦⑥で同等の場合は、リーグ戦を通じて敗者数の少ないチームを上位とする。
⑧⑦で同等の場合は、リーグ戦を通じて「一本」もしくは、それと同等の勝ちによる敗者数の少ないチームを上位とする。
⑨⑧で同等の場合は、リーグ戦を通じて「技有」による敗者数の少ないチームを上位とする。
⑩⑨で同等の場合は、リーグ戦を通じて「有効」による敗者数の少ないチームを上位とする。
⑪⑩で同等の場合は、リーグ戦を通じて「僅差」による敗者数の少ないチームを上位とする。
⑫⑪で同等の場合は、代表戦（1 名）による順位決定戦を行なう。なお、代表戦に出場する選手は、チームの任意により１名を選出する。

６　競技規則　　⑴ 国際柔道連盟審判規定（2025 年 1 月 1 日より施行）「少年大会試合審判規定」（2026 年 4 月 1 日より施行）及び本大会の申し合わせ事項による。
⑵ 勝敗の判断基準は、団体戦においては、「一本」「技有」「有効」又は「僅差（指導の差２以上）」とする。
⑶ 代表戦の判定基準は団体戦と同様にするが、３分間の本戦で得点差がない場合は、延長戦（ゴールデンスコア）により勝敗を決する。延長戦による勝敗の決定方法ついて、技による得点がない場合、「指導」差が上回った時点で決する。
⑷ 優劣の成り立ちは以下のとおりとする。
｛「一本」＝「反則勝ち」＞「技有」＞「有効」＞「僅差」｝
⑸ 試合時間は、３分間とし、延長戦は無制限とする。
⑹ 競技規則に、問題が起こったときは、専門委員会で協議する。
⑺ チーム編成(オーダー)は体重順とし､一番軽い者が先鋒、一番重い者が大将とする｡なお､補欠の選手を入れる場合も､体重順になるようにする。(体重が同じ時は､新たに入る者が先鋒に近い方とする)
①試合は、選手５名(女子３名)の対抗戦とする。オーダーの変更は認めない。
②一度退いた選手は、再出場を認めない。
③申し込みの選手が事故のため変更するときは、大会開始前において、チーム代表印を押した届けをもってこれを認める。※補欠選手の補充を行う。
⑻ 柔道衣の色は白色とし帯は白帯と黒帯のみとする。柔道衣・帯については全日本柔道連盟が定める規定とする。

(9)柔道衣にゼッケンを着用して試合をする。（学校名・名字入り）
①布地は白色とし、サイズは横３０～３５㎝、縦２５～３０㎝とする。
②名字（姓）は上側２／３、学校名は下側１／３とする。
③書体は太字ゴシック体とする。（明朝または楷書でもよい）
④文字色は、男子は黒色、女子は濃い赤色とする。
⑤襟から５㎝～１０㎝下部の位置で、周囲と対角線を強い糸で縫い付ける。
(10)女子は、上衣の下の部分に白色又は白に近い色の半袖で無地のＴシャツ又は半袖のレオタードを着用すること。（全日本柔道連盟が定める規定・平成２５年４月１日より施行）

7　外部指導者

（コーチ）のベンチ入りについて
(1) 令和８年度福岡県中学校体育連盟外部指導者登録要項により手続き・登録が完了している者。
(2)コーチのベンチ入りは１校１名(男女出場であっても)とする。ベンチ入りは大会申込者本人に限る。
(3)服装は、審判員に準じた服装とし、マナーを守り、良識ある態度で生徒の指導にあたる。
(4)監督会議への参加は認めない。監督会議での申し合わせ事項等は、連絡を密に取り内容の周知徹底をチームの責任において図る。

8　申し合わせ事項

(1)計量時に安全マナーチェックを行う。
(2) Ｊアラート等警報時は、競技を中断し、行政からの指示に従う。その後、安全が確認できたら競 技を再開する。
(3)AED 設置場所は事務室とする。

9　参加資格　筑前地区中学校総合（新人）体育大会参加資格「特別規定」による。

10　表　　彰　１～３位まで賞状を授与する。県大会については、男女とも４位までが出場資格を得る。

11　申し込み　規定の申し込み用紙に書き込み、チーム代表印を押し、各区専門部長でまとめ、令和８年１０月１２日（月）までに、下記までＦＡＸにて申し込むこと。また同一文書を直ちに郵送すること。

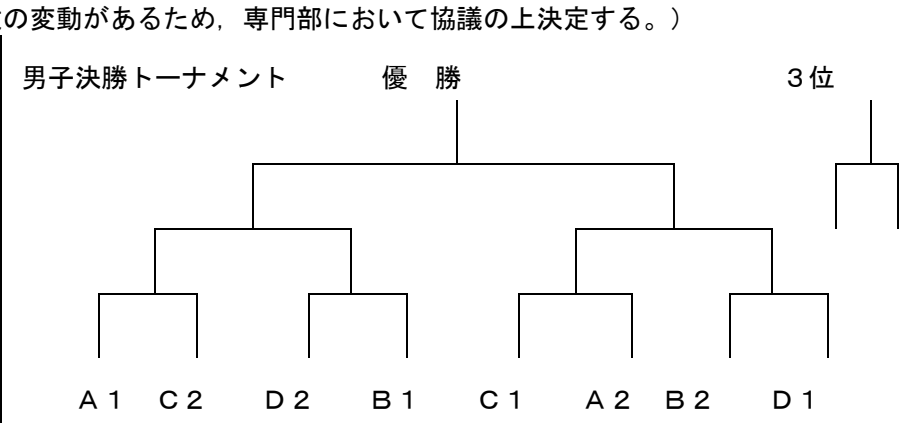
（〒８１９－１１２１）糸島市荻浦３-４-１　　糸島市立前原西中学校内　　馬場　海人　宛
TEL　０９２－３２２－５３２１　　FAX　０９２－３２２－９９４８

12　専門委員　＜糟屋＞　渕　上　創　司　（新　宮中）　　＜宗像＞　木　村　騰　哉　（城　山中）
＜糸島＞　馬　場　海　人　（前原西中）　　＜筑紫＞　安　東　悠　太　郎　（二日市中）

13　組み合わせ

【団体戦】　男子予選リーグ（女子団体戦は，出場校数の変動があるため，専門部において協議の上決定する。）

Ａリーグ	Ｂリーグ	Ｃリーグ	Ｄリーグ
第１試合場	第２試合場	第３試合場	第４試合場
筑紫１位	糸島１位	宗像１位	糟屋１位
糟屋２位	宗像２位	糸島２位	筑紫２位
糸島３位	糟屋３位	筑紫３位	宗像３位
糟屋５位	筑紫４位	糟屋４位	糟屋６位



14　その他　主催者が手配した医療関係者が応急処置の実施や医療施設への救急搬送の必要性を判断の上搬送を行い、または行わないことがあるが、これらの処置、判断等について故意または重過失がない限り主催者、医療関係者は責任を負わない。